

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
情報社会と経営		大野 満奈	講義	1	後期
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件				
学習目標	<p>ITの発展と相まって、多種多様な新型金融商品の登場、企業間競争の激化、製品・サービスのイノベーションの加速化、および基幹産業の規制緩和等を背景として、経営環境は著しく変化を遂げている。こういった状況のなか、経営者は不確実性のもと意思決定に有用な情報を、そして、企業外部の一般投資家は企業とのコミュニケーションに主体的に参加すべく財務情報のディスクロージャーを要求する。本講は、このような情報と意思決定の関係についての理解を深め、社会の成員として活動するうえで必要とされる当該基礎的知識を習得することを目的とする。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	日本的経営の特徴	終身雇用、年功序列型賃金、労使関係、企業間の系列関係、国企業経営の現状			
2	企業の資金調達	企業の資金調達の仕組み 他人資本・自己資本・資金の具体的運用形態			
3	高度情報通信社会と経営	インターネットの普及と社会変化 IT革命以降の企業の雇用形態			
4	ディスクロージャー制度	企業の情報開示とその手段 財務諸表の種類と見方			
5	企業会計情報システム	複式簿記と会計情報システム 補助簿の作成			
6	日本企業の歩み（1）	経済復興期、高度成長期、			
7	日本企業の歩み（2）	低成長期、バブル経済、長期不況、21世紀の企業経営			
8	時事問題を考える	時事問題に関するディスカッション			
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
参 考 書	<p>伊藤元重著「ゼミナール日本経済入門」日本経済新聞社 2011 渡辺裕巨他編著「新検定簿記ワークブック 3級」中央出版社 2009</p>				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	講義のテーマに基づいた時事問題については特に注目し、日々の社会の動きを理解するように心掛けること。				
評価の方法と時期	定期試験における筆記試験と、授業中の態度及び出席状況で期末に総合的に判定する。				